

な か べ 学 院
中 部 少 年 学 院 後 援 会

〒750-0081
山口県下関市彦島角倉町
3丁目6番17号
TEL (083) 266-1934
発行 広 報 部
印刷
(株) ナカハラプリンテックス
TEL (083) 266-4601

そよかぜ

題字 小野倉蔵



皆さん、こんにちは。下関市長の前田晋太郎です。秋も深まり、冬が駆け足で近づいているようですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

毎年11月は「児童虐待防止推進月間」です。ここ数年、全国各地で発生した児童虐待のニュースがテレビ等で絶え間なく報道されており、社会的にも児童虐待の防止が大きな課題となっています。

下関市では、毎年、なかべこども家庭支援センター紙風船が中心となって実施される「オレンジリボンたすきりレー」の後援を行っています。本年は、新型コロナウイルス感染症への配慮から、例年の「たすきりレー」に替えて、「下関オレンジリボンアクション2020」として、児童虐待防止の象徴である「オレンジリボン」をテーマに、市内各所で様々なイベントが実施されました。触れ合いの機会は限られますが、日頃から児童虐待防止に取り組む皆様をはじめ、私たち一人ひとりの児童虐待を失くしたいという思いが「たすきりレー」のように市民の皆様へ伝わり、広がっていくことを心より願っております。

また、学校の休業や外出自粛など、子どもや家庭の生活環境が大きく変化しています。日常生活においてストレスを感じる場面も多く、児童虐待のリスクの高まりも懸念されます。このような状況の中でも、全ての子どもたちが大人の暴力や養育放棄に脅えることなく健やかに成長することが地域そして社会全体の願いであり、明るい未来への希望でもあります。

本市も地域の方々をはじめ関係の皆様と連携して、子どもたち、そしてその保護者の方々への支援をさらに推進していきたいと考えていますので、今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、社会福祉法人中部少年学院がこれからも末永く笑顔あふれ心温まる場所でありませう、また、職員や関係の皆様がますますのご健勝、ご多幸をお祈り申し上げ、挨拶とさせていただきます。



ご挨拶

下関市長 前田 晋太郎

オレンジリボン運動

今年で12年目を迎えるオレンジリボンたすきりレーは下関ですが、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「下関オレンジリボンアクション2020」と内容を変更し様々な啓発活動を展開しました。

本年度も多くの団体・個人の皆様のご理解とご協力を得て、児童虐待防止啓発活動を開催出来ました。ことに深く感謝申し上げます。



① オレンジリボンイルミネーション
11月1日(月)にオープニングとして前田下関市長他のご来賓にご臨席賜り、「はい！からっと横丁」観覧車に夜空を彩るオレンジリボンイルミネーションを灯す点灯式を開催しました。



② サンデンバス広告
同、11月1日(月)からサンデン交通路線バスに「虐待がなろうと思ったら189(いちはやく)」というステッカーを月末まで掲示していただきます。



③ 児童虐待防止啓発パネル展
シーモール下関2Fピアモールにて、児童虐待防止啓発のパネル展を開催しました。パネルには、虐待の種類や被害を受けた子ども達はどうなるのか、なぜ虐待が起こるのか、詳しくパネルで展示し、来場者に見て頂きました。

④ 啓発ポケットティッシュ配布
市内の小学生以下の児童にオレンジリボンポケットティッシュを配布しました。



⑤ オレンジリボンツリー制作
児童虐待防止の願いをメッセージカードに書いて頂きオレンジリボンツリーに飾り、パネル展会場と市役所に展示しました。たくさんの方々の願いが通じること祈っています。



⑥ オレンジアピール
ご賛同頂いた方に、オレンジリボンマグネット、オレンジTシャツ、オレンジマスクなどを着用して頂き、市内をオレンジ色に染める活動を行い、これまで以上にオレンジリボンを目にする回数を増やし、市民の方々に関心をもってもらいたくような企画を実施いたしました。

全国の児童相談所への児童虐待相談対応件数は毎年更新し続け、悲惨な虐待死事件も後を絶ちません。ご承知の通り、児童虐待は子どもに健全な発育・発達を阻害し、生涯に渡り深刻な影響を及ぼします。虐待をなくすためには、一人ひとりの勇気と行動が大切です。多くの人に虐待を身近に感じていただき、困っている人がいたら手を差し伸べてあげてほしいと思います。「こどもの笑顔と未来を守りたい」というスローガンの元、我々が出来ることをみんなで一緒に考え行動に移して行きましょう。

編集後記

2009年11月17日 下関市役所前三角公園の場所から、オレンジリボンたすきが12人のランナーにより2区間の関門トンネル入道口へ向かってスタートしました。3区、4区とリレーされ、山陽小野田、宇部を経由し山口へ到着しました。会場では、萩地区、周南地区等から沢山の人が集合し、リレーしたたすきが会場いっぱいになり、まさに「児童虐待ゼロ運動」の始まりでした。

2020年は、点と線をつないできたオレンジリボンたすきを、面により多くの皆様を知っていただくため、はいからっと横丁の観覧車、海峽ゆめタワーなどをオレンジ色にライトアップして頂き、大きなリボンができ、市内がオレンジカラーに染まりました。

オレンジリボン運動実行委員の皆様、企画から運営までお疲れさまでした。
太刀山 逸男



啓さんの知恵袋
理事長 石川 啓

「育の一字」
育はとく(とく)を組み合わせた姿。女は生まれた子どもの逆さまの形で、その下に月を加えて人の体であることを示します。子どもが生まれる形の育には、子どもを「うむ・そだつ・そだてる」という意味があり、生育・発育・育成などといういられています。

後援会加入のお願い

法人年会費 一口 一万円
個人年会費 一口 千円
何口加入されてもかまいません。
お問い合わせはなかべ学院まで
TEL 083-266-11934

